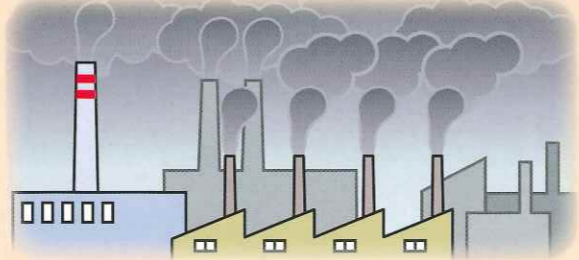


私たちの地球の未来



地球温暖化

物を燃やすと出てくる二酸化炭素などの影響によって、地球温暖化が進んでいます。今までにない猛暑や大雨などの異常気象が増加するなど、世界中の自然や暮らしに様々な影響が出ています。

マイクロプラスチック

ごみとして捨てられたプラスチックは、太陽光や波にさらされ、どんどん小さく砕かれていきます。(自然界では、分解されにくい性質をもっています。) この小さなプラスチックのかけらがマイクロプラスチックです。

これらを動物が飲み込むことなどにより、生態系への影響を与えるとともに、海産物を通じて人体に影響を与えることが心配されています。



豊かな暮らしを続けるために

身のまわりの自然から目をそらして、何も考えずに資源を使い続ければ、自然のめぐみは失われ、いつかは世界中の資源を使い果たし、今のような豊かな暮らしができなくなってしまいます。

それでは、自然のめぐみを回復し、資源を使い果たすことなくいつまでも豊かに暮らす方法はあるのでしょうか？

この清掃工場の見学にも多くのヒントがありました。ここからは、どのように考え行動していくか、一人ひとりが考えてみましょう。

ごみを減らして地球を救おう



高柳清掃工場

志太広域事務組合 (焼津市・藤枝市)

たか やなぎ せい そう こう じょう
高柳清掃工場のしくみ

トラックスケール

車に積んであるごみの重量を計って記録する場所です。1日約300台から多い日は500台を超えます。



プラットホーム

一般車両やごみ収集車がごみを降ろす場所です。7つ扉があります。



ごみピット

焼津市・藤枝市から集められてきたごみを一時的にためる場所です。(たて11m×よこ24m×深さ10m)

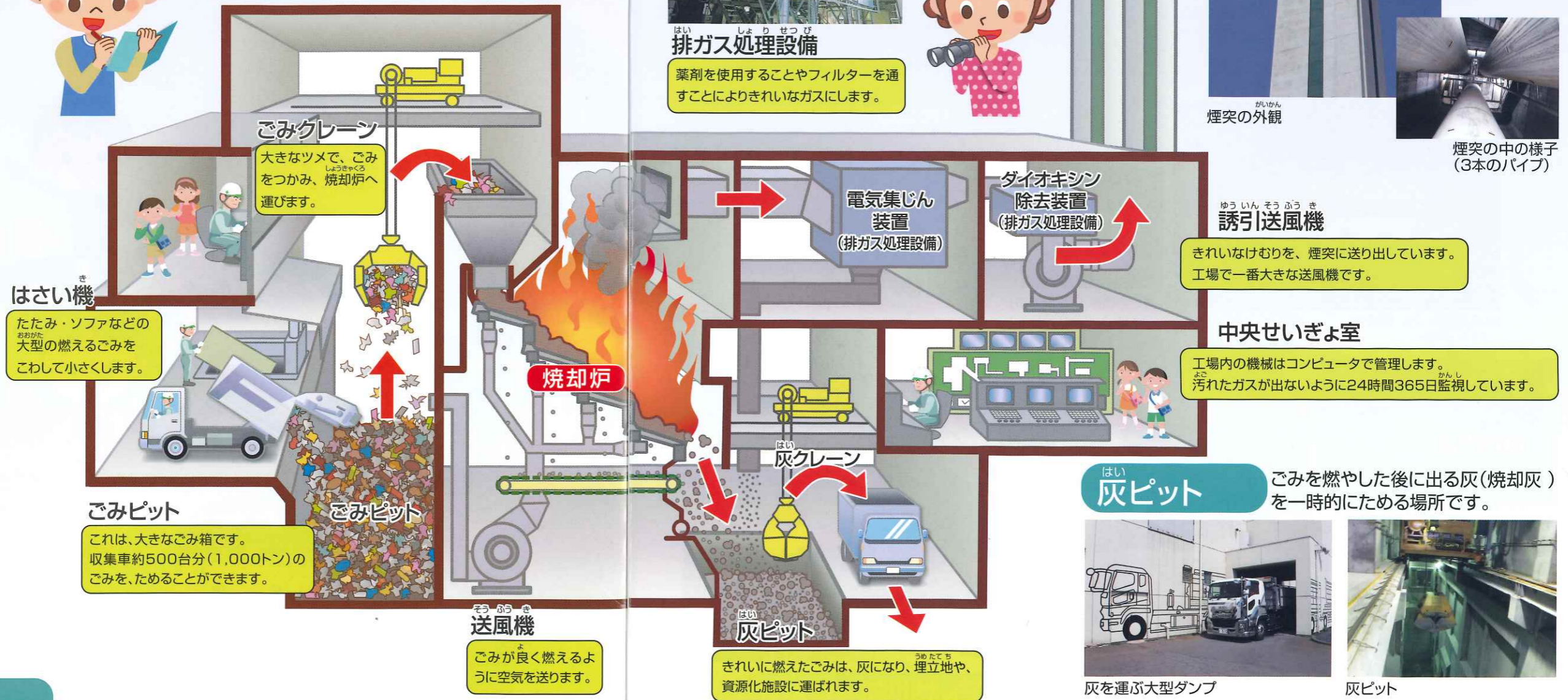


ごみクレーン

クレーンでごみをつかんで焼却炉に入れます。一度に約1.5トンのごみをつかむことができます。



工事費: 41億円
 運転開始: 1984年4月(昭和59年)
 処理量: 1日最大255トン
 働いている人: 31人
 この工場は、当時の焼津市、藤枝市、旧大井川町、旧岡部町が、協力して建設しました。



しょうきゃくろ
焼却炉

約900℃から950℃の高い温度でごみを燃やし環境に悪い有害物質を分解します。ごみを燃やして灰になるまで約2時間30分かかります。焼却炉の壁は厚さ約30センチのレンガでできているので、1750℃の温度まで耐えられるとても丈夫な造りになっています。



ごみを燃やす温度は約900℃～950℃



厚さ30cmのレンガでつくられています。床は金属(鋳物)でつくられていて、動くことによりごみを運びます。



焼却炉の外側

燃やすごみのゆくえ



▲ごみ収集車
・焼津市: 16台
・藤枝市: 14台

焼津市・藤枝市の家庭やお店、事業所から出る燃やすごみは、清掃工場で焼却処理されます。焼却したごみの約10%が焼却灰として全国へ運ばれ、埋立またはリサイクルされます。残りの約90%はきれいな排ガス(水蒸気)として煙突から排出されます。



▲高柳清掃工場(藤枝市)
(85トン/日×3炉)



▲一色清掃工場(焼津市)
(120トン/日×1炉)



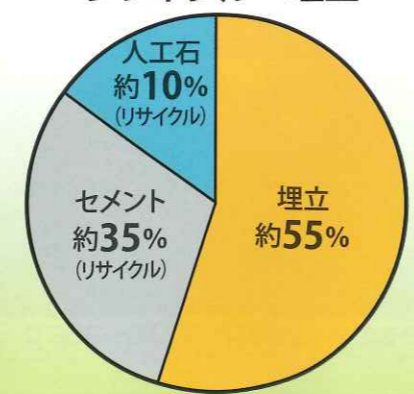
▲トラックから貨物列車へ



▲JR貨物(秋田県へ)



焼却灰のリサイクル・埋立



▲貨物船(大分県へ)



埋立 群馬県・秋田県へ



▲埋立地(群馬県・秋田県)

人工石にリサイクル! 愛知県・栃木県へ



▲人工石の工場



▲1600℃以上で溶かし、ゆっくり固めます。



人工石
天然の石と変わらない石に生まれ変わります。



▲河川や海の石材・道路材料に使われます。



溶融メタル

▲底に沈んだ溶融メタルからは、金・銀・銅などのたくさんの種類の金属を取り出すことができます。



鉛



銅



亜鉛



銀

金

セメントにリサイクル! 大分県・三重県へ

焼却灰には、セメント原料としての必要な成分が多く含まれていて、セメントに生まれ変わります。

セメントは、コンクリートの材料として使われます。(校舎の柱や壁などの建設資材) 近くのホームセンターでも販売されています。



▲セメント工場(大分県・三重県)



▲セメント



▲コンクリート製テラポット

資源物のゆくえ



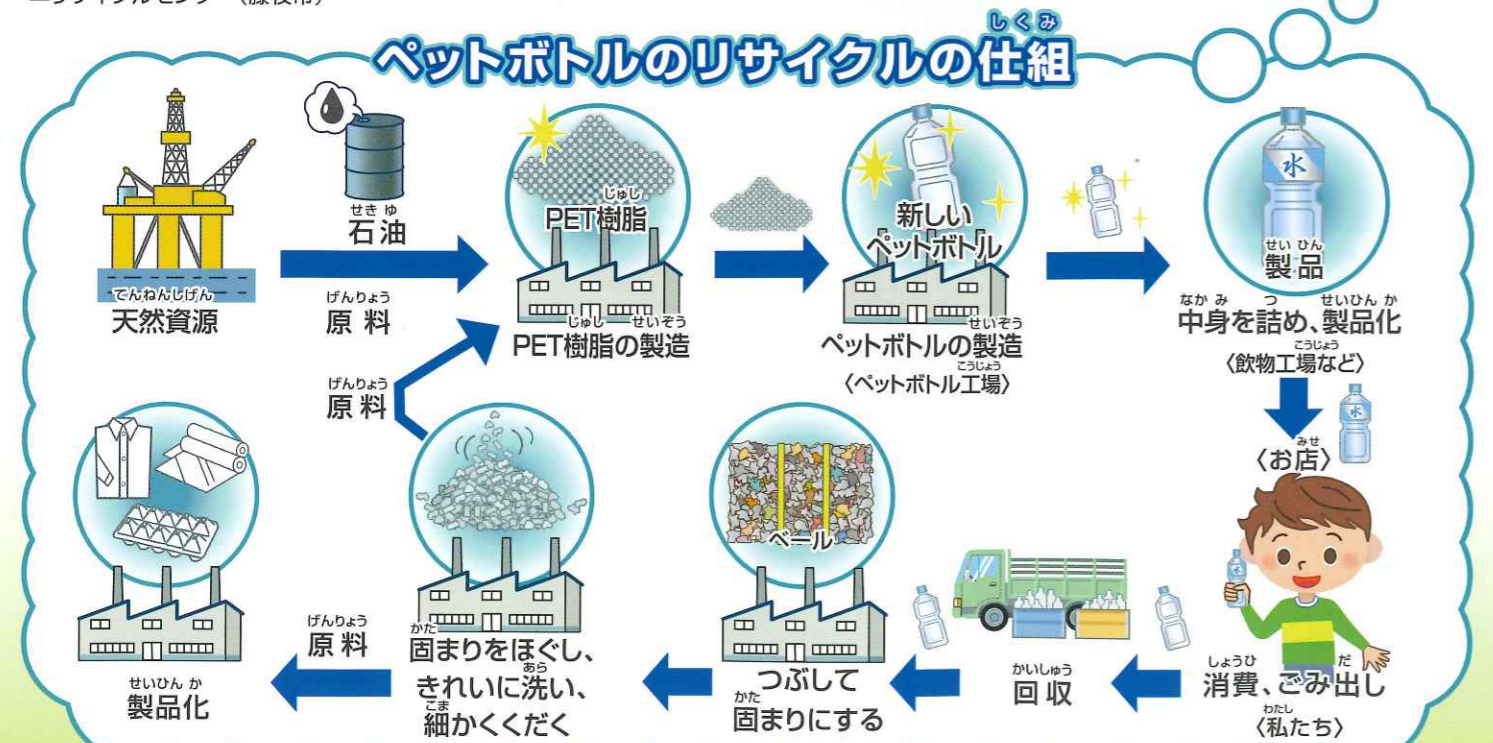
- ▲地域の集団回収(各町内会に1~3ヶ所)
- ▲ミニステーション(焼津市:4ヶ所)
- ▲エコステーション(藤枝市:3ヶ所)
- 缶・びん・新聞紙など

- ▲資源ごみ収集車
- 焼津市:20台
- 藤枝市:13台



ペットボトルやプラスチックのリサイクルの様子を
見てみよう!

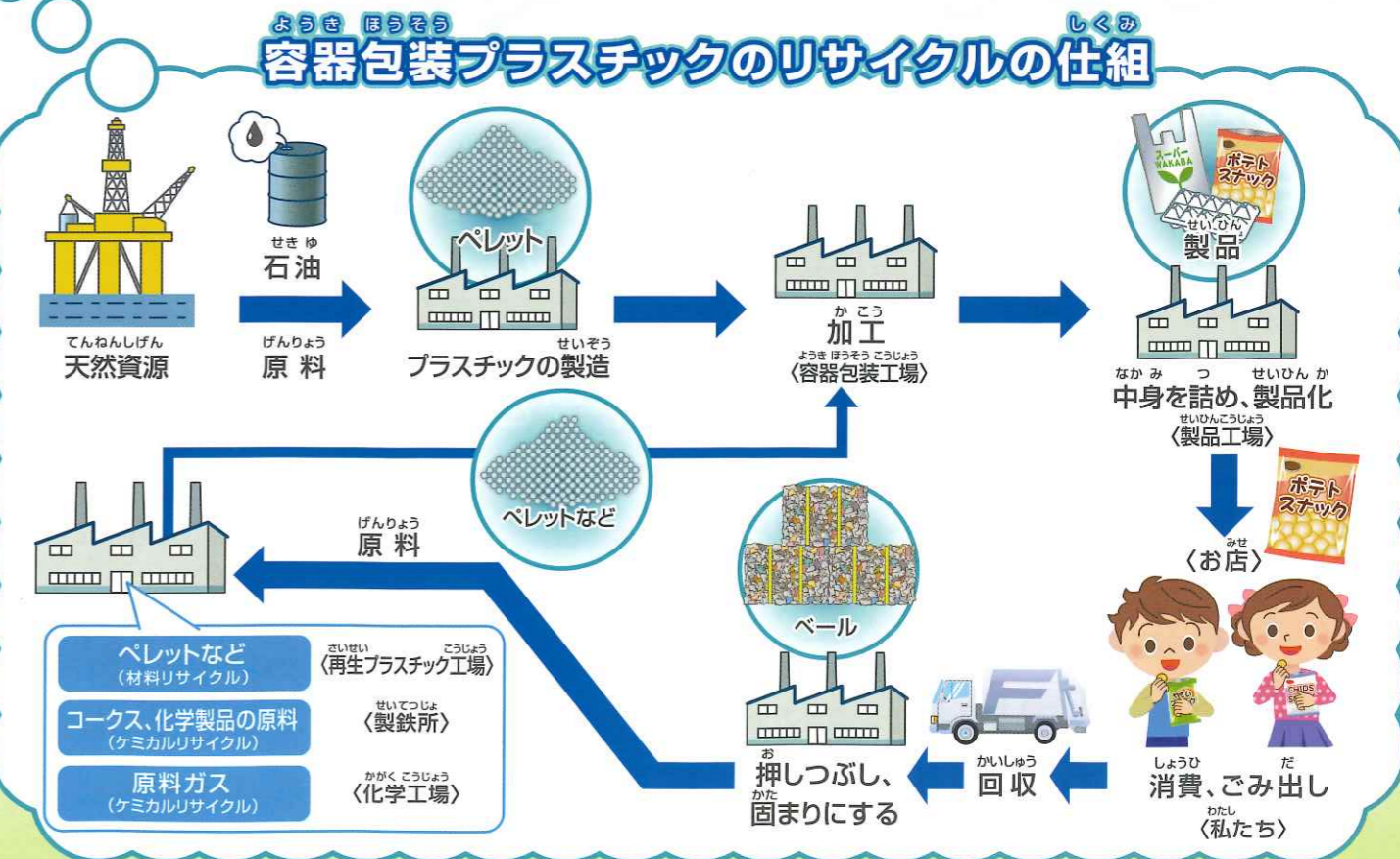
全国のリサイクル工場へ
運ばれます。



Recycle 焼津市と藤枝市が回収している資源物



※この他にも焼津市はプラスチック製品を、藤枝市では生ごみなどを回収しています。





3つのステップで ごみを減らそう!

リデュース

Reduce

ごみを減らそう!

ごみを減らす一番大切な方法はごみを出さないこと。
買う前に必要かどうかもう一度考えよう

マイバッグを持って行こう!!

お店でレジ袋を買わない、
もらわないようにしましょう。
包んでもらわなくてもすむ物は
包装をこころわろう。



ごはんは 残さず食べよう!!

残さず食べて、生ご
みを出さないように
しよう。



こわれても修理して大切に使う!!



新しいものを買う前に
修理できないか考えよう。
長く大事にできる物
を選ぼう。

レンタル・シェアリングシステムを 利用しよう!!



買わずに借りるという
方法を考えてみよう。
みんなで共有してご
みを減らそう。

リユース

Reuse

くり返し使おう!

捨てる前に、何かに使えないかを考えてみませ
んか? 一つひとつのものをもっと大切にしよう

つめかえができる製品を利用して、 くり返し使おう!!



くり返し使える容器を
使えば、ごみが減りま
す。牛乳びんやビール
びんは、リターナルび
んといって、回収され
ると、そのままの形で
あらって再度びんとし
て使えます。

必要としている人に譲ろう!!



バザーに出品したり、
リユースショップに買
い取ってもらう。
フリマアプリやネット
オークションを利用
しよう。



3Rの実行

リデュース Reduce リユース Reuse リサイクル Recycle

リサイクル

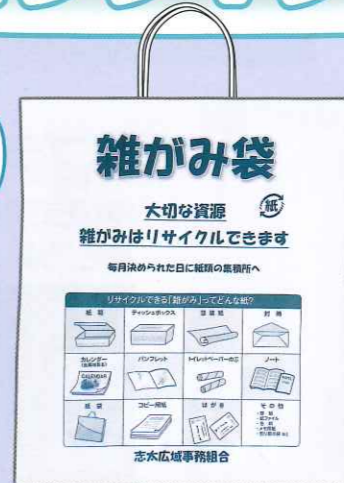
Recycle

再び資源として利用しよう!

雑がみをリサイクルしよう!



雑がみ袋を
利用してね

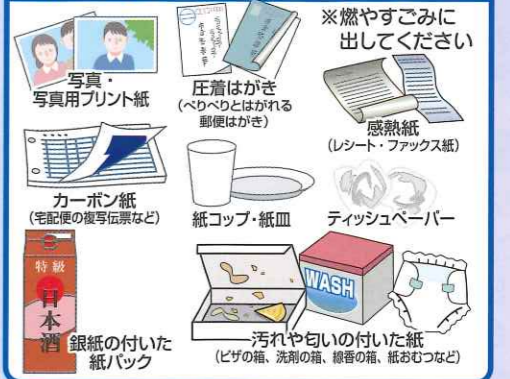


市で
決められた日に
紙類の集積所に
出してみよう

リサイクルできる「雑がみ」ってどんな紙?

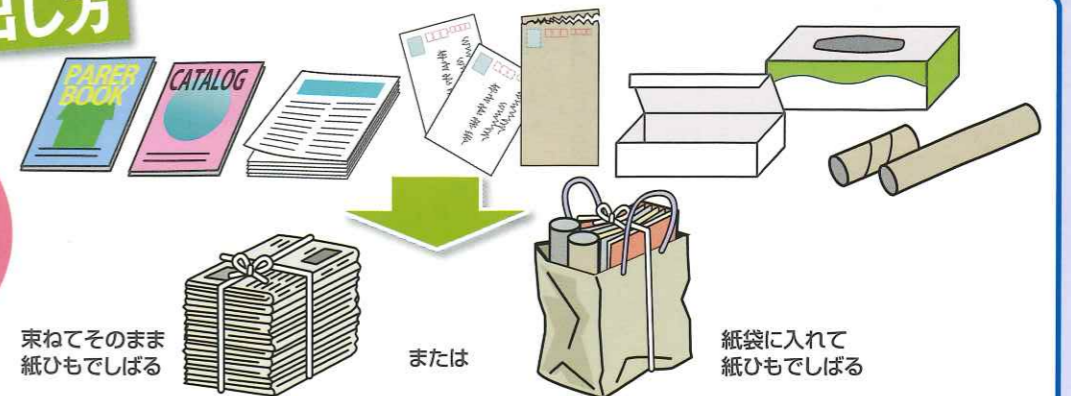


雑がみとしてだせないもの



雑がみの出し方

家にある
古い紙袋を
活用しよう。



※新聞紙で作る雑がみ袋は、志太広域事務組合ホームページで紹介しています。

たか やなぎ せい そう こう じょう はたら ひと

高柳清掃工場で働く人たち

中央制御室での監視

高柳清掃工場内の全ての情報を管理しています。ごみの量、焼却炉の温度、排ガスなどモニターを見ながら365日24時間体制で監視をしています。



クレーンの運転

クレーンの講習を受けた人だけが運転することができます。



車の誘導(スケール)

ごみの量を計るための大きな計測器で、記録する場所です。

1日約300台(200~500)の車を1台ずつ安全に誘導します。



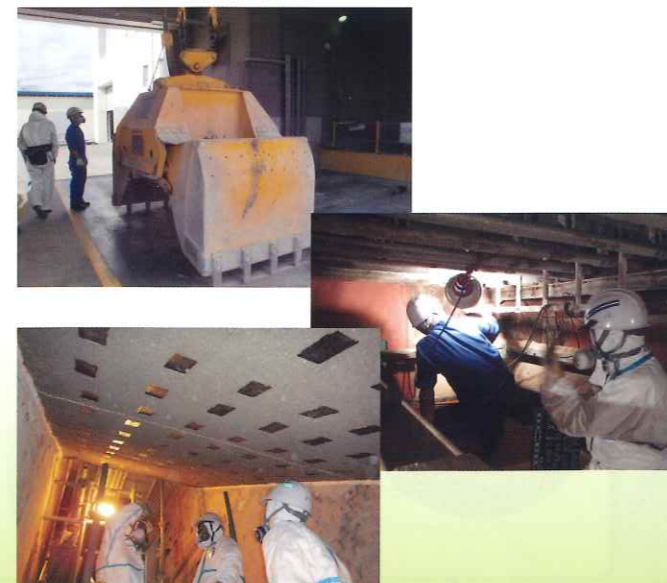
プラットフォーム誘導

車からごみを降ろす場所で1台ずつ車を誘導します。



機械の修理・点検

機械の故障や不具合などを防ぐために、定期的に修理・点検を行います。



作業服



焼却炉のまわりで作業する時の服装です。動きやすい作業服に安全靴、ヘルメット、ゴーグル、防じんマスク、軍手をつけます。

防護服



有害な物質がある場所で作業する時の服装です。防護服に安全靴、エアラインマスク、手袋をつけます。

エアラインマスク



空気清浄機能付空気圧縮機につなげて、きれいな空気を送り込みながら作業をすることができます。

ヘルメット



作業する時や、転倒した時でも衝撃から頭を守る丈夫なヘルメットです。

手袋



革でつくられた丈夫な手袋です。

安全長靴



足の甲の部分に鉄の板が入っている丈夫な長靴です。

工場働く人から皆さんへ

ごみの中の、電池やスプレー缶は破れついで大変危険です。又、水とうなどの金属は機械の故障につながって困っています。

きちんと分別してほしいと思います。

